

令和2年度 大阪府立寝屋川支援学校 第3回学校運営協議会について

大阪府立寝屋川支援学校
校長 福井 浩平
准校長 阪本 友輝

当初、令和3年2月19日に『令和2年度 大阪府立寝屋川支援学校 第3回学校運営協議会』を本校にて開催の予定でありましたが、新型コロナウイルス感染症対策として、学校運営協議会委員の皆様には協議資料を送付し、内容を確認のうえ『承認書』の提出をもって、『令和3年度 大阪府立寝屋川支援学校 学校経営計画（案）』の承認をいただくことといたしました。

委員の皆様及びご関係の皆様にはご迷惑をおかけし、たいへん申し訳ございませんでした。

以下に委員の皆様よりいただいたご意見等を掲載いたします。

ご協力をいただきました委員の皆様に対し、厚く御礼申し上げます。

I 令和2年度 大阪府立寝屋川支援学校 学校運営協議会委員等

協議会会長：辻 行雄（一般社団法人 IL・チャレンジ L's College おおさか校長）

協議会副会長：大槻 千春（寝屋川支援学校PTA会長）

協議会委員：須田 正信（大阪教育大学 特任教授）

山崎 淳（寝屋川市立梅が丘小学校長）

猿橋 桂子（寝屋川市立 あかつき・ひばり園 ひばり園長・療育相談室長）

上村 篤（株式会社ゲオビジネスサポート ストアコーディネーター）

校長：福井 浩平

准校長：阪本 友輝

事務部長：石川 昌義

事務局員：教頭（※和田 藤田） 首席（角尾 門田） 学部主事（西田 林 植屋）

※印は事務局長

- ## II 報告事項：
- 1 令和2年度 本校の新型コロナウイルス感染症対策について
 - 2 令和2年度 大阪府立寝屋川支援学校 卒業生進路予定
 - 3 「令和元年度 学校に関するアンケート」結果と分析

- III 協議資料：1 令和2年度 学校経営計画及び学校評価（案）
- 2 令和3年度 学校経営計画及び学校評価（案）
- 3 令和2年度 学校経営計画及び学校評価（案）（高等部）
- 4 令和3年度 学校経営計画及び学校評価（案）（高等部）

IV 議題：『令和2年度 大阪府立寝屋川支援学校 学校経営計画』の承認について

V 協議内容・承認事項等（意見の概要）：

※各委員より過半数の『承認書』のご提出をいただき、『令和3年度 大阪府立寝屋川支援学校 学校経営計画（案）』について、承認がなされた。

以下、『承認書』に添付された各委員の意見より抜粋

【辻 会長】キャッチフレーズを挿入し、これまでにない斬新な学校経営計画となっている。

12年間の一貫教育を目指していることが、明確になっており、生涯にわたって学ぶ姿勢の構築が取り入れられた点が注目される。自立活動に着目されている点もたいへん評価できる。わかりやすいキャッチコピーにより、保護者も意見を述べやすくなるので、ぜひ、この路線を続けていただきたい。

【須田委員】現代求められている「働き方改革」の実践的取り組みを期待したい。特に学校現場での業務内容の見直しや関係機関との連携促進が必要に思う。高等部でのコース制や職場実習開始、新規開拓などに成果が見られる。今後キャリア教育の促進となる全校的なキャリアマトリクス等の活用が求められる。「職業学習」の見直しを図る予定であるが、高等部のみにとどまらず「キャリア教育の視点」で小学部・中学部段階から内容の精選を図る指針が必要ではないか。進路指導だけでなく、他の校務部署との連携が重要になる。

【山崎委員】新型コロナウイルス感染症対策をすすめながら、府教育庁の指導や保護者の意見等を積極的に取り入れ、子どもたちのために学校を良くしていこうとする管理職の先生方をはじめ、寝屋川支援学校のすべての先生方の熱い気持ちによって、すばらしい学校づくりをすすめておられる。『令和3年度 学校経営計画及び学校評価(案)』においては、キャッチフレーズや見出し等を一面に出す等、その内容が一新されており、校長・准校長の意気込みがまざまざと伝わってくる。

【猿橋委員】「令和2年度 学校に関するアンケート」の結果より、保護者全体からの肯定的評価が得られた横目が増加しており。新型コロナウイルス感染症対策の影響で授業参観や行事等が例年と違う形で実施されてきた中であっても高い評価が得られている。令和3年度学校経営計画の就学前施設との連携に関わって、就学前から学童期におけるライフステージに応じた継続的な支援の推進が、あかつき・ひばり園と連携をするなかで実現することを期待する。

【上村委員】教職員に対しての「学校に関するアンケート」の結果より、「15 この学校では、児童生徒の教育環境が整備され、施設・設備の拡充が見通しをもって計画されている」という項目で否定的な意見が多く、その前向きな対策の実現に向けた適切な取り組みを期待している。新型コロナ感染症対策に関しては、オンライン会議システムを取り入れた取り組み等の積極的なICTの活用が児童生徒の学びに直結して良い効果を得られている。引き続き、感染症対策等を含め、柔軟な対応を行いつつ『令和3年度 学校経営計画及び学校評価(案)』に記載されている内容の実現に向けた取り組みをしていただきたい。